



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第22号

発行:2008年2月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

ほうゆう病院 患者さまとの関わりあれこれ

～ スタッフや患者・家族の笑顔に支えられて ～

ほうゆう病院 看護部長 横溝 和子



お別れの日、「最後にこの病院に来られてよかった。あっちこちの病院にかわったけれどそれなりに良くしていただきました。でもこの病院はなんか違うんですよね。坂があっても面会に来るのが億劫でなかったんですよ。よく考えたら皆さん、うちのおじいさんに合った言葉で話して聞いてくれていたんです。マニュアル的でなかったんです。おじいさんをよく見てくださっていたのが解りました。来るのが楽しみになっていました。」と奥様に感謝の言葉をいただいたと看護師長の報告。共に看護の喜びをわかち合いました。朝と夕の報告時などに、嬉しかった事、感動した事、困った事などエピソードを披露してくれます。看護師になって良かったと思うひとときです。

このような事例が教えてくれるのは、他人を思いやったり、心配してくれたり、時には楽しい会話だったり、患者さんの心がゆたかな事、率直な気持ちの表現が知らず知らずしてほしい看護、望むケアをメッセージしているのだと受け止めています。そして、嬉しい言葉や笑顔が私たちのエネルギーとなっています。

院内研修に自分の病棟の自慢をしまししょうと楽しい研修「病棟自慢」を毎年実施しています。その中に、患者さんの笑顔に関する発表が必ずあります。

なにげない会話の部分でニッコリとした表情に気づき、それを糸口とし患者さんの意欲をひ

きだし、グループ・ホームに入所を目標に約1年間関わった事例を看護学会で発表しました。入所できた患者さんの晴れ晴れとした笑顔、チームで関わったスタッフの達成感と満足感の笑顔がありました。ケア力・OT力・PSW力・家族力の結集は、チームアプローチの成功事例としてスタッフの自信となり、気づきの大事さ連携、実践の大事さをもって学びました。看護は感情労働であるといわれる所以だと思います。

ほうゆう病院の理念のなかに「人格の尊重」「やわらかな環境」「自己研鑽」など掲げています。患者様にとって病院は治療の場であり、生活の場ですから、笑顔のあるいきいきと安心して暮らせる環境を提供したいと職種をこえて研修に取り組んでいます。例えば前年にはスエーデンのシルビア王妃の提唱による新しい認知症ケア・タクティールケアについて講義を受けそのうちの何人が専門的に研修を受け、実習に取り組んでいます。また、今の状況をしっかりと捉え、目標管理するための方法としてバランス・スコア・カードについて師長会で勉強会を実施し、ほうゆう病院の理念の達成に向けて、20年度の目標管理に導入したいと考えています。患者様の笑顔ときつい一言が個別性のある看護とは、と、私たちのモチベーションとなりチーム医療の充実と向上の原動力となっています。単科の認知症専門病院としての強みを活かしてこれからも突き進んでいきたいと思ひます。

